

答えは 萩市立明木小学校・旭中学校



明木は、明木川が運んだ土砂がたまってできた小さな平野にあります。江戸時代は宿場町で、萩から山口へ行く街道（萩往還）と萩から下関へ行く街道（赤間関街道）が分かれる所でした。今でも、萩から山口、萩から小郡へ行く分かれ道があります。萩と小郡をむすぶ自動車専用道路も建設中です。

学校の敷地の中には、萩市立明木図書館があります。この図書館は、日本でもっとも古い村立の図書館の1つでした。毎年、中学3年生が石ノ巻山の山頂付近に桜を植えています。

石ノ巻山



石ノ巻山の桜



花見の名所になっているよ。



旭中学校の3年生が、卒業記念に植えているよ。

江戸時代の道しるべ



「左は山口道、右はせき（下関）道」と、石の柱にきざまれているよ。

江戸時代、明木宿は旅人たちでにぎわっていたんだって。

2代目の明木図書館



昭和3年（1928）に建てられたんだって。今は、公民館として使われているよ。

国の登録有形文化財になっているよ。



萩市立明木図書館



明治39年（1906）に、初めて建てられたんだって。今の建物は4代目だよ。